

旧浜松市上水道施設群について

登録有形文化財7施設

編集・発行/浜松市上下水道部 上下水道総務課

〒430-0906 浜松市中央区住吉五丁目 13 番 1 号
TEL : 053(474)-7012 Fax : 053(474)-0247
E-mail suidow-s@city.hamamatsu.shizuoka.jp

はじめに…

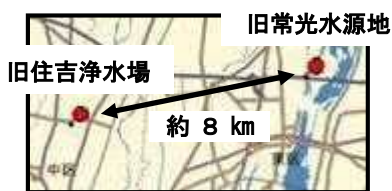
天竜川の伏流水(地下に一時潜入して流れているところの水)を取水し、浜松市民に水を安定供給しようという壮大な計画が大正 14(1925)年に市議会で可決され、常光水源地ポンプ室、住吉浄水場ポンプ室など、一連の水道施設が建設されました。昭和 6(1931)年 3 月には通水式が行われ、計画給水人口 130,000 人(平成 22 年度現在の計画給水人口 817,600 人)の上水道が完成しました。

昭和初期の都市化と近代化の中で生まれた水道施設も、昭和40 年代には当初の役割を終えましたが、竣工から90 年以上の年月を迎えた現在、当時の最新技術をもって建設された設備と建築の魅力を我々に伝える貴重な資産となっており、国の登録有形文化財に指定されました。

① 旧常光水源地※ポンプ



※旧常光水源地は中央区の天竜川に面した、東名高速道路沿いにあります。



昭和初期の“水のたび”

天竜川の水は、旧常光水源地 ポンプ室から住吉浄水場へ送水されました。

② 旧住吉浄水場 着水井



水は、約8キロの旅を終え、旧住吉浄水場 着水井に到着しました。

旧住吉浄水場 ろ過池



(緩速)ろ過池で不純物などが取り除かれ、

⑤ 旧住吉浄水場 配水池



ポンプ室よりも高いところに位置している配水池に集められました。

⑥ 旧住吉浄水場 直送ポンプ井



そして、直送ポンプ井から

④ 旧住吉浄水場 ポンプ室

ポンプ室内の低揚ポンプを経由して、



高区にはポンプ室内のポンプで加圧され、各家庭に配水されました。

低区には自然流下により、各家庭に配水されました。

③ 旧住吉浄水場 接合井



きれいになった水は、接合井をとおり、

⑦ 旧住吉浄水場 正門



当時の正門も文化財に登録されています。



この建物の“ここ”がポイント 🔍



洗出しの外壁と半円アーチの玄関



松をイメージしたステンドグラス



幾何学模様のタイル
きかがくもよう



ドーナツ型の装飾
そうしよく



漆喰のレリーフ
しっくい



レトロな照明器具



タイルの帯
(配水池(塔屋部分))



欄間の格子
(配水池(塔屋部分))



換気塔
(接合井)
かんきとう



「」にチェックを入れながら
見るとたのしいですよ！

紹介動画
はこちら

↓浜松市の水道のおいたち



3D モデルを使った動画↑



おわりに・・・

浜松市は数多くの名だたる世界的大企業を輩出し、また中小企業も含めた製造業を中心に今日まで市勢を拡大してきました。この住吉・常光水道施設は工業都市浜松の形成にとって、なくてはならない存在だったと思います。